

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年4月26日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.110】

横領事件の被疑者S氏・Y氏は革マル派とみて間違いない！

前号で福祉事業協会元理事長のS氏が松崎氏の側近であり、中核派からの襲撃を受けた革マル派の大物とみられることを記載した。このS氏について、西岡研介著「マングローブ」は東労組元中央執行委員A氏の話に基づき、さらに詳しく解説している(p.104~)。

JR総連の内部資料などによると、81年に旧動労からの土地や建物などの寄付により設立された「動力車福祉事業協会」が「鉄福」のルーツ。87年、国鉄分割民営化による動労解散に伴い、現在の日本鉄道福祉事業協会と改称された。現在はJR総連関連の福利厚生団体として、前出の目黒さつき会館などの運営を主な業務としている財団法人である。「しかし、それはあくまでも『鉄福』の“表の顔”。鉄福の理事長は長年、『松崎の金庫番』といわれたSという人物が務めてきたのです。このため松崎が実質的に所有してきた別荘のほとんどが、鉄福名義になっているのです」(A氏) S氏(71歳)は、JR総連傘下の「JR東海労」の委員長を務めた人物だ。そして85年に鉄福の理事に就任、98年には理事長に就き、04年5月に辞任するまでの6年間、鉄福の最高責任者として君臨し続けたのだ。ところがこのS、特殊な“過去”を持っている。JR総連の前身である「鉄道労連」が結成された87年2月、当時、動労中央本部副委員長だったSは、ヘルメット姿の6人組に鉄パイプなどで滅多打ちにされ、両手両足を砕かれ、瀕死の重傷を負ったのだ。この事件では後に、革マル派の対立セクト「中核派」が犯行声明を出すのだが、Sはその後、奇跡的な回復を遂げ、前述のとおり「松崎の金庫番」となるのである。

S氏が革マル派であることは間違いないだろう。松崎氏は「金庫番」のS氏を福祉事業協会理事長に据え、先に検証した沖縄やハワイの別荘購入の問題をはじめ、組織を好き放題に私物化して公金を費消し私腹を肥やしていたということだろう。JR総連・東労組の一般組合員にとっては、許し難い「底なしの腐敗」(「マングローブ」より)であるはずだ。

Y氏は革マル派活動家として建造物侵入罪の犯罪歴あり！

そして、「6・19判決」では、業務上横領被疑事件の被疑者である福祉事業協会職員のY氏について、「認定事実」として以下の通り記載している(年は西暦に修正)。

第3 当裁判所の判断 1認定事実

(8) 原告Yは、1985年10月4日、中核派系全日本学生自治会総連合(略称「全学連」)と革マル派系全学連の内ゲバ事件に起因して発生したN大学に対する建造物侵入罪で、革マル派系全学連活動家である共犯者3名と共に逮捕され、罰金刑を受けていたという活動歴があり、1991年ころから、原告福祉事業協会において、会計、経理業務全般を担当していた。

判決の通り、Y氏は革マル派の活動家としての犯罪歴があるという。現在もなお革マル派構成員とみるのが自然だろう。なぜこのような人物が福祉事業協会の職員になっているのか。「No.82」でみた松崎氏のボディガードであるTM氏(東労組のプロパー書記)も同様に革マル派活動家の犯罪歴がある人物だ。これまで検証してきたように、JR総連・東労組と関連団体には革マル派構成員と疑われる者がうようよいる。松崎氏を頂点に、JR革マル派が組織を完全に支配していると危惧せざるを得ない。彼らは、到底、普通の労働組合とは言えない。革マル派の浸透疑惑はまさに真っ黒である。

「検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！」はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>